

バージョン 7.0

クイック・スタート・ガイド

本書は、WebSphere eXtreme Scale のインストールおよび簡単なアプリケーションの実行を始めるときに参照していただくガイドです。



各国語バージョン: 各国語に翻訳されたクイック・スタート・ガイドを入手するには、クイック・スタート CD にある PDF ファイルを印刷してください。

製品の概要

IBM® WebSphere® eXtreme Scale は、弾性および拡張性のある、メモリー内のデータ・グリッドで、値あるいはグラフをキーによりアドレス可能な方式で保管します。eXtreme Scale は、Java™ で作成されるアプリケーションの処理単位の状態の保管をサポートします。アベイラビリティの要件に応じて、グリッドに保管するデータの複製を作成でき、すぐに使用可能なデータベース統合を実現することができます。

WebSphere eXtreme Scale を、既存の WebSphere Application Server および WebSphere Network Deployment のインストールと統合することができます。あるいは、Java Platform、Standard Edition と Java Platform、Enterprise Edition の両方のアプリケーション環境をサポートする製品を別々にインストールすることもできます。

1 ステップ 1: ソフトウェアのアクセス



製品をPassport Advantage® からダウンロードした場合は、次のダウンロード文書の指示に従ってください。
<http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=3023&uid=swg27015533>

この製品オファリングのメディア・パックには、以下が含まれます。

- クイック・スタート
- IBM WebSphere eXtreme Scale バージョン 7.0 (32 ビットまたは 64 ビット)

2 ステップ 2: ハードウェアとシステム構成の評価



システム要件の詳細は、次の文書を参照してください。

<http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=3023&uid=swg27007281>

3 ステップ 3: 文書のアクセス



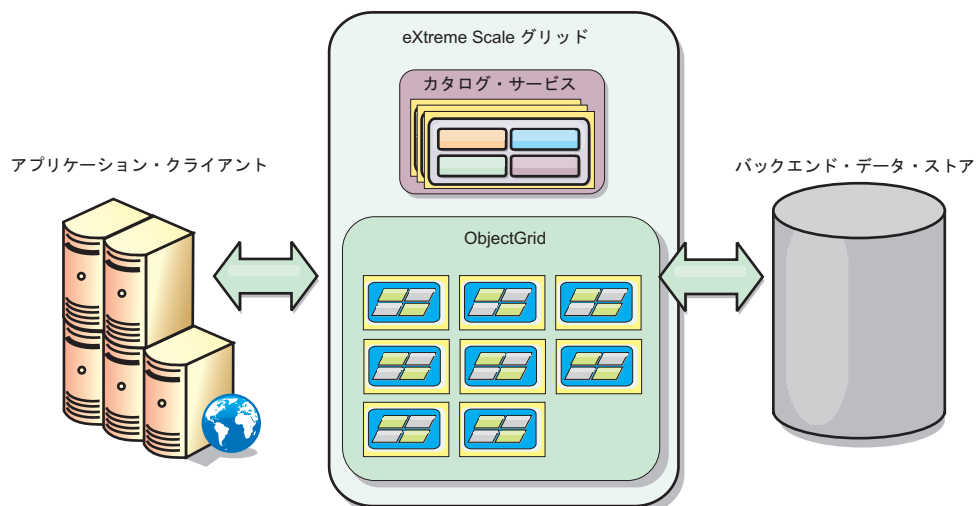
インストール手順を含む詳細な資料は、次の WebSphere eXtreme Scale 製品資料を参照してください。

<http://www.ibm.com/software/webservers/appserv/extend/library/index.html>

4 ステップ 4: eXtreme Scale アーキテクチャーの検討



以下の図は、WebSphere eXtreme Scale の分散されたコヒーレントなキャッシュ環境を示します。追加のトポロジー・ダイアグラムは、インフォメーション・センターで入手できます。



5 ステップ 5: 製品のインストール



この製品は、Java Platform、Enterprise Edition または Java Platform、Standard Edition 環境にインストールおよびデプロイすることができます。

- WebSphere Application Server もしくは WebSphere Application Server Network Deployment を含まない環境には、スタンドアロンの WebSphere eXtreme Scale バージョン 7.0 を、インストールします。スタンドアロン・オプションを使用して、eXtreme Scale サーバーをインストールする新規のインストール・ロケーションを定義します。
- WebSphere Application Server または WebSphere Application Server Network Deployment の既存のインストールに、eXtreme Scale を統合します。eXtreme Scale のクライアントとサーバーの両方をインストールすることも、あるいは、クライアントのみをインストールすることもできます。

詳しくは、インフォメーション・センターの WebSphere eXtreme Scale のインストールとデプロイのトピックを参照してください。

6 ステップ 6: サンプル・クライアント・アプリケーションの実行



1. `install_root/gettingstarted/env.sh|bat` ファイルの `JAVA_HOME` 変数を編集して、Java Development Kit (JDK) あるいは Java Runtime Environment (JRE) バージョン 1.5 以降の有効なインストール・ディレクトリーを参照するようにしてください。
2. `runcat.sh|bat` を実行して、カタログ・サービス・プロセスを開始します。
3. `runcontainer.sh|bat server0` を実行して、コンテナ・プロセスを開始します。
4. 以下のクライアント・コマンドを実行します。
 - データをグリッドに追加するには、`runclient.sh|bat i key1 helloworld` を実行します。
 - `key1` 値を検索するには、`runclient.sh|bat g key1` を実行します。
 - `key1` 値を更新するには、`runclient.sh|bat u key1 goodbyeWorld` を実行します。
 - `key1` 値を削除するには、`runclient.sh d key1` を実行します。

追加の情報



追加の技術リソースについては、CD 上の WebSphere eXtreme Scale のインストール資料および README ファイルを参照してください。

